

「医と健康フォーラム2015関西」の開催結果について

関西イノベーション推進室（産学官連携）
 広 域 医 療 局

関西のライフサイエンス分野での研究を生かし、医と産業が連携することにより、健康長寿社会の実現と次世代産業の創造を目指し、シンポジウムや一般参加型イベントからなる「医と健康フォーラム2015関西」を開催した。

記

1 事業概要

- (1) 日 時 平成 27 年 3 月 20 日（金）～22 日（日）
- (2) 場 所 グランフロント大阪 ナレッジシアター及びナレッジプラザ
- (3) 主 催 「医と健康フォーラム 2015 関西」実行委員会
 （ 関西広域連合、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、
 神戸商工会議所、第 29 回日本医学会総会 2015 関西 ）
- (4) 後 援 経済産業省、文部科学省、厚生労働省
- (5) 協 力 inochi 未来プロジェクト実行委員会、大阪府医師会、大阪府栄養士会
 大阪府歯科医師会、大阪府看護協会、大阪府薬剤師会
 グランフロント大阪 TMO、ナレッジキャピタル
- (6) 協 賛 (株)竹中工務店、新田ゼラチン(株)ほか
- (7) 来場者数 シンポジウム 350 人
 健康市民フェスタ 3,700 人（21 日 1,700 人、22 日 2,000 人）

2 結果概要

- (1) シンポジウム「健康社会を支える医と産業の新しい連携
 ～関西から次世代の産業創造をめざして～」(3月20日)
 井村第 29 回日本医学会総会 2015 関西会頭 及び 小林久隆アメリカ国立衛生研究所 (NIH) 主任研究員の講演に続き、政府・大学・産業界から取り組みを紹介。井戸連合長からは関西における自治体による広域的な取り組みについて特区を中心に紹介。
 この後行われたパネルディスカッションにおいて、関西における健康寿命社会の構築と次世代産業の創出に向けた課題について討論し、オール関西で産学官が連携して取り組むための推進組織（「関西健康・医療産業創生会議(仮称)」）の設置について提言が行われた。



(フォトセッション)



(パネルディスカッション)

(2) 健康市民フェスタ（3月20日～22日）

大阪府医師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会、大阪府薬剤師会、大阪府歯科医師会、大阪府助産師会が健康に暮らすための医学・医療情報を市民に啓発。

広域医療局もドクターヘリに関する啓発パネル展示を実施。



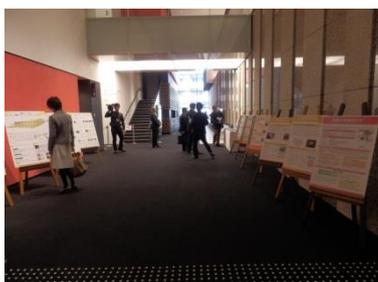
(会場の様子)



(広域連合の展示)

(3) 展示イベント（3月20日）

関西広域連合、大阪商工会議所及び経済産業省がそれぞれの医療に係る取組を展示。



(会場の様子)



(広域連合の展示)

3 今後の対応案

(1) 「関西健康・医療産業創生会議(仮称)」の設置に向けた準備会合を発足

※関西広域連合と関西経済連合会が中心となり検討を開始

- ・ 医学会総会終了後、早期にコアメンバーによる意見交換の後、準備会合を開催
- ・ 並行して、課題の抽出、取り組み事業の検討を行うため、有識者による研究会を開催

(2) 関西広域連合における検討体制を設置し、研究会を実施して検討

※担当:企画参事(イノベーション推進担当)、広域医療局

※企画参事(イノベーション推進担当)に顧問を設置